

科目名	人文学講読演習Ⅲ 1 2 - 1					単位	2.0
担当教員	李 恩郷						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	1416

●授業のテーマ  
文化の型

●到達目標  
「文化」について考える力と方法を身につける。

●学習内容(授業概要)

文化人類学の代表作の一つである「菊と刀」を熟読しながら、数十年前の日本の文化について学ぶ。アメリカの文化人類学者の目に映った戦前及び戦後の日本の文化と現在の日本の文化の違いを比較することで、日本文化の変遷をたどることを目指す。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 文化人類学の思考方式
3. ルース・ベネディクト紹介、本書の位置づけ、意義
4. 第一章 研究課題—日本
5. 第二章 戦時中の日本人
6. イギリスのマスコミがみた日本
7. 第三章 各々其ノ所ヲ得
8. 第四章 明治維新
9. 日本：経済の国と文化の国
10. 第五章 過去と世間への債務者
11. 第六章 万分の位置の恩返し
12. 「日本の二の舞」にはなりたくない
13. 第七章 義理ほどつらいものはない
14. 近代アメリカ報道による日本
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業の最後には、小論文を提出してもらおうが、成績の一部として評価する。

●成績評価方法・基準

小論文 70%、レポート 30%

●テキスト（必携）

『菊と刀 日本文化の型』ルース・ベネディクト著 越智敏之・越智道雄訳 平凡社 1913.8.9

●参考文献／その他

『日本はどう報じられているか』編著者 石澤靖治 新潮社  
そのほか、適宜提示する。

●履修上の注意

出席及び積極的に討論に参加することを評価の最大基準とする。